

(端裏書)

「新九郎殿

九郎右衛門

五左衛門殿

新八郎

」

以別紙申入候、然_者

近塩鯔一苞并一品

御贈之不浅致大慶候

併此度預御付届

右等之御配意_{ニ而}ハ

近頃致迷惑いたしに付

毛頭如在無之候得共

其段申断己三郎殿

及辞退候處其後林

善太兵衛より持参候て

段々申談候間此余

彼是辞退及ひ候てハ

如何_ニ付致受納

呉候も入御念儀忝

存候、右御礼早々旁

如此候、已上

卯月十九日